

# 入野小学校 校長室だより

2014.5.23(金) No.7 文責：芝

## 学校の中で一番大切なもの

「この学校が火事で燃えてしまっても、お金さえ出せば、また学校は建てられる。」

この話だけを切り取ると、とんでもない話、全く不適切の極みですが、実際に私が4月の朝会で子どもたちに話したことです。『学校の中で一番大切なものは何か?』という話の中で使いました。

「学校の中で一番大切なのは、ここにいる一人ひとりの命。もしも誰かが命をなくすようなことになっても、どんなにお金を積んでも取り戻すことはできない。」

こんな話の中で『火事』の例えを出したことでした。

既に多くの皆さんがご存じのことと思いますが、16日に入野小学校の子どもが交通事故にあってしまいました。

大変なことです。

知らせを聞いたみんなが顔色を失う出来事でしたが、診察の結果は「外傷の処置のあと帰宅可」。ホッとしました。まさに『不幸中の幸い』です。ですが、衝突した場所が少しズレていたら、そんなケガだけではすまなかったかもしれません。

19日(月)の朝会の時に、子どもたちに交通安全に関する話をしました。「ひとつのことしか話さない」と強調して話したつもりでしたが、子どもたちに伝わったのでしょうか。

いつか「この事故があったから、入野小学校の子どもたちは車に十分気をつけている」「このことがあったから、入野小学校の子どもたちは交通事故にあわない」と話したいものです。そんな入野小学校の未来のために、貴重な教訓として生かしていきましょう。

## 5ポイント、何にする？

21日(水)、「選書会」がありました。選書会とは、子どもたちが実際に本を見て、選び、投票した結果をもとに今年度購入する本のリストを作成するというものです。



写真のように体育館にずらりと本が並べられ、更にステージ側には本が立てて展示されたコーナーもありで、眺めるだけでもワクワクしてしまう光景でした。

子どもたちは、どの本を5ポイントの本に選ぶか、1ポイントの本2冊をどれにするのか、体育館をまわりながら思案していました。

「5ポイントの本、何にするか決まらん。」

と言う子ども、そして、

「トーマスに出るがと同じ汽車がある。顔はついてないけど…」

と、思わず内容に引き込まれる子ども。それぞれに本を選ぶ楽しさを味わっていました。

私事で恐縮ですが、「こんな方法は初めて」です。興味津々で見させていただきましたが、子どもたちの表情や動きからは「こんな方法もいいなあ」と思ったことでした。

子どもたちの投じたポイントの高い本は、遠からず学校に届くはずですが、どんな本になるのか、私も楽しみに待ちたいと思います。

本を読むということは、特に子どもたちの成長にとって、とても大切なことです。時間が空いた時に本に手が伸びる、そんな人になってくれたら嬉しいですね。